

赤れんが

第18号

- 特集「がん相談」
- トピックス
- 診療案内他

<理念>

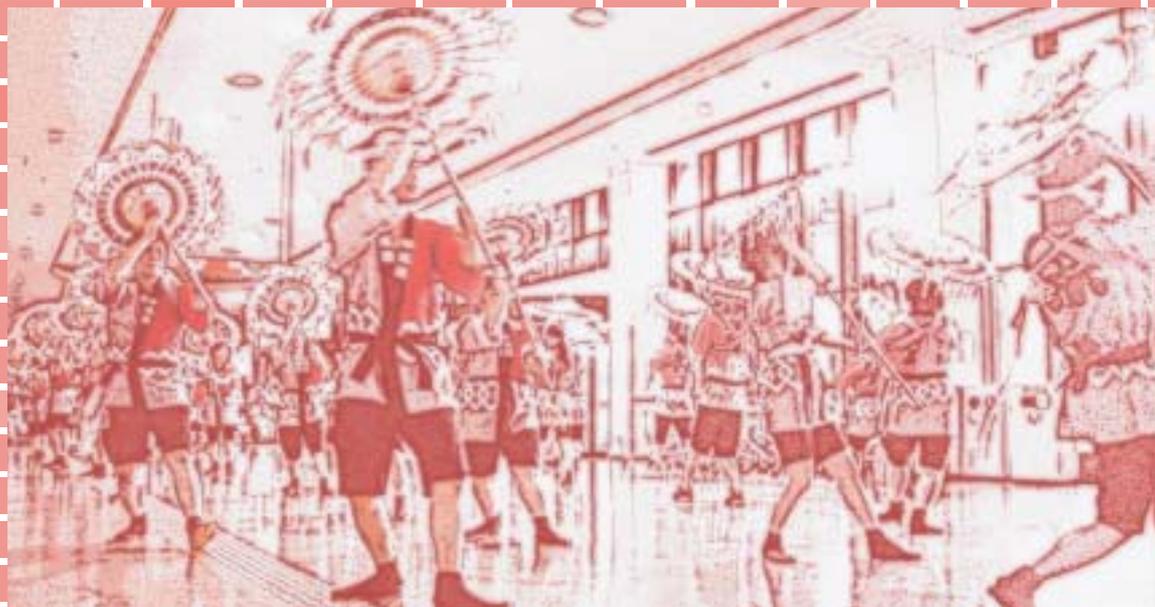
質の高い医療を提供し、患者の生命と健康を守ります

<基本方針>

- 1 私たちは、急性期の高度医療と救急医療を提供します
- 2 私たちは、研修・研鑽に励み、患者に信頼される医療を提供します
- 3 私たちは、他の医療機関との連携を強化し、地域医療の向上に努めます
- 4 私たちは、地域に期待される医療従事者を育成します
- 5 私たちは、健全な経営基盤の確立を目指します

<急性期病院の役割>

当院は、地域の急性期の患者様を診療させていただく役割があります。急性期の専門的治療が終わり、病状が安定された方は、担当の医師が判断し、責任を持ってお近くの診療所、かかりつけの医師へご紹介いたします。日頃の治療や健康状態を見守る大切な診療所と連携を取り合いますので、ご安心ください。急性期の患者様が一人でも多く外来受診できますように、どうぞ、ご理解とご協力をお願いいたします。



※8/16 中央病院ホール

「医療機関を、上手に受診」

副院長 根本 良介

皆さん、どこか身体の具合が悪くなったらどうしますか？誰しも専門医に早く診てもらって、早く治したいと思われませんか？

例えば数日前から胸の鈍痛が続いたとします。胸の筋肉か肋骨の痛みだろうか、肺がんかも、いやいや心臓が悪いかも知れないと思いをめぐらしますね。何はともあれ専門医が集まっている病院で診てもらえば安心ということ、いきなり大きな病院を受診しても、どの診療科にかかったら良いのか迷ってしまいます。取りあえず整形外科に受付し、順番を待って骨のレントゲン写真を撮って、異常なし。肺を診てもらいなさいと言われて呼吸器内科を受診し、胸部CT写真を撮って、異常なし。最後に、心臓内科を受診し、心臓超音波検査を受け、やっと軽い狭心症と診断されたが、最初に受付してから5時間以上も経過し、クタクタに。

このようなことを避けるためには、どうすればよいのでしょうか。それは、まず身近なかかりつけ医（ホームドクター）



「大國主命」と、神話の地鳥取県

診療所と専門病院の役割をよく理解して受診することが、上手な医療機関のかかり方です。

診療所は、最初の見立てと初期治療の役割を担い、病院は専門的な診断・治療の役割を担います。専門病院での治療が落ち着いたら、診療所に戻って通院します。病院は専門性が高い反面、診療所のように、患者さんの全体像を把握し、持病や生活習慣病をこまめにコントロールするシステムにはなっていない。特に、高齢者や幼児にとっては、診療所のホームドクターの管理下にあることが、健康な生活を謳歌する秘訣です。

ター、開業医）に相談することをお勧めします。症状や経過を詳しく話し、診察（触診、聴診、胸部写真、心電図など）を受けます。その結果、専門医を受診する必要性の有無を判定してもらいます。しかも、どの領域の疾患か、的を絞ってもらい受診する診療科を紹介してもらいます。そうすることで、専門病院で不要な検査を受けなくて済みますし、診療科をたらい回しになることもありません。

がん相談支援室を ご存じですか？

がん相談支援室では、患者さんやそのご家族からの、がんの医療にかかわる様々な質問や相談にお答えしており、次の相談員が常駐しています。



○「がん看護専門看護師」

がんの治療や症状に関する悩み、日常生活で困っていることなどに対応します。また、緩和ケアについてのご相談も受け付けています。

○「医療ソーシャルワーカー」

医療費・生活費などの経済的な相談、自宅での療養や介護、他の病院への転院の相談など、がん治療を安心して受ける上での色々な問題に対してご相談にのり、解決へのお手伝いをしています。

○「臨床心理士」

こころの専門家です。病気の告知に伴うショック、病気を抱えて毎日の生活を送る上での不安、家族や友人に病気をどの様に伝えたらよいかなど、気持ちに関わる問題を患者さんと一緒に考えます。

特集 がん相談



相談室はプライバシーの守られる個室になっていました。相談室内ではインターネットの使用が可能となっており、相談員と一緒に信頼できる情報を探します。また、必要な情報はその場で印刷してお持ち帰りいただくことも可能です。さらに図書やDVDの貸し出し、がんに関する各種パンフレットも取り揃えております。どうぞお気軽にお越しください。

鳥取県立中央病院

がん相談支援室の利用方法

患者さん、ご家族など、どなたでもご利用いただけます。

開催日： 月～金曜日（祝日を除く）

時間： 8：30～16：00

料金： 無料

直接来られる場合： 外来棟1階中央の「がん相談支援室」へ直接お越しください。

電話での相談： 0857-21-8501（直通）

患者サロン

患者さんやそのご家族など、病気を抱えた当事者同士の情報交換や、病気に対する不安や悩みを語り合う場として「患者サロン」は全国的に広がりを見せています。当院も今年度中に患者サロン専用スペースが設けられる予定です。病気に関する書籍やパンフレットを閲覧することができ、インターネットやDVDも自由に利用していただくことで、より多くの情報を入手出来る場所にしたいと考えています。完成の際には、ぜひお越しください。

患者サロン専用スペースの完成に合わせて、がん患者さんとそのご家族を対象としたサロンの設置を目指しています。がんサロンは既に鳥取県内では、がん診療連携拠点病院などを中心に設置されています。当院ではがんサロン設置にむけて、毎月1回「がん」と向き合う患者さんの集い」を開催しています。毎回様々な種類のがんの患者さんとそのご家族が参加されています。興味のある方は、がん相談支援室までお問い合わせください。